

龍峯やまびこ公園 笑顔があふれる公園が完成



▲子どもたちに大人気の大規模複合遊具

興善寺町に「龍峯やまびこ公園」が完成したことに伴い、3月21日、校区の関係者や子どもたちが集まり開園を喜びました。この公園は、災害時の一時避難地としての防災機能を備えた都市公園です。

公園面積は1・2ha。多目的広場やトイレ兼備蓄倉庫、仮設トイレとして機能する「トイレスツール」や炊き出しに活躍する「かまどベンチ」、遊戯広場には大型複合遊具などを備えています。

中村市長らによるテープカットが終わり、公園が開放されると、子どもたちが笑顔で遊ぶ姿が見られました。岡町小路の松田ミユキさんは「足腰に自信のない人にも、この公園はありがたい」と笑顔で語りジョギングロードを歩き始めました。

まちなかピザ窯お披露目会 薪で焼くピザは絶品



▲窯作りや薪割から始めて食べてピザの美味しさに大満足

3月20日、本町1丁目のがらっぱ広場で、まちなかピザ窯お披露目会が行われ、市民25人が集まりました。

これは、県のフードバレー構想に対応した市の取り組みである「ピザ@やつしろ（びざつとやつしろ）プロジェクト」。八代の特産品を載せて味わう同プロジェクトに協力している県立大学小菌和剛准教授提案の新メニュー「ばんべいゆと生ハムのピザ」が振る舞われ、参加者から美味しさが絶賛されました。また、新商品「熊本このしろアヒージョ」の試食も行われ、参加者は同構想への理解を深めました。

利用時間は午前10時～午後2時で、使用料は1回1団体1500円、申込みはまちなか活性化協議会 ☎ 320721へ。

大山加奈さんバレーボール教室 未来のバレーボール選手に



▲ボールを使った体操を説明する大山加奈さんと説明を聞く参加者

順延となっていた、大山加奈さんによる「バレーボール教室」が3月30日、総合体育館で開催され、八代地域の小中学生、約120人が参加しました。

これは、市体育協会の自主事業で本市バレーボールの技術力向上や子どもたちの健全育成が目的です。

大山さんは「皆さんと一緒にバレーボール教室ができることを嬉しく思っています」とあいさつ。教室では、バレーボールの基本動作やボールを使つての柔軟体操の仕方などを親切丁寧に指導し、参加者全員に目を配っていました。

太田郷小6年の奥村ころろさんは「知らないことを教えてもらったので、今後の練習に活かして強くなりたいです」と笑顔で汗をぬぐいました。

定住自立圏協定調印式 八代市と芦北町が協定



▲調印を終え、握手を交わす中村博生市長と竹崎一成芦北町長（右）

八代市と芦北町が定住自立圏形成協定を締結することに伴い3月24日、中村博生市長や竹崎一成芦北町長、県議会議員、市議会議員、同町議会議員など約40人が出席し、市役所で調印式が行われました。

この協定は、相互に役割を分担して連携を図りながら、圏域に必要な都市機能と生活機能を確保し、住民が安心して豊かに暮らせる定住自立圏を形成することが目的です。

中村市長は「産業や文化で連携し、安心して暮らせる地方圏を形成したい」。竹崎町長は「この協定を機にさらに交流を深め、忌憚のない意見交換ができれば」と抱負を語りました。

今後、定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催や同ビジョン（素案）に関するパブリックコメントを実施する予定です。

100歳 おめでとうございます



野坂ツヤ子さん
(高島町)
大正5年4月10日生

4人きょうだいの次女として生まれ、結婚後、5人の子宝に恵まれたツヤ子さん。手先の器用さを活かして、我が子に振り袖を仕立てたりしました。長寿の秘訣は「友だちとの交流を楽しむこと」。



高崎フジエさん
(古閑浜町)
大正5年4月1日生

千丁生まれのフジエさん。炊事が大好きで、得意料理は餃子やコロケ、饅頭です。きれいい好きで働き者、几帳面なフジエさんの長寿の秘訣は「食事を規則正しく、バランス良く食べる」こと。



金橋文子さん
(古閑上町)
大正5年3月31日生

北九州生まれの文子さん。昭和20年に父の故郷である八代に移り住みました。趣味は、日本舞踊やお茶押し花などです。長寿の秘訣は「いろいろな趣味や目標を持つこと」。



梅田ヨシ子さん
(井揚町)
大正5年3月28日生

沖町で8人きょうだいの次女として生まれたヨシ子さん。井揚町の農家に嫁ぎ3男3女の6人の子宝に恵まれました。長寿の秘訣は「身体にいいものをしつかり噛んで食べる」こと。



村山ハル子さん
(坂本町)
大正5年3月27日生

二見で4人きょうだいの長女として生まれ育ったハル子さん。みかんや米などの栽培をしながら6人の子どもを育てました。長寿の秘訣は「よく食べよく体を動かすこと」。



古閑フミコさん
(千丁町)
大正5年3月16日生

千丁町で3人のきょうだいの長女として生まれたフミコさん。20代の早い時期に農家に嫁ぎ、イ草を栽培しながら4人の子宝に恵まれました。長寿の秘訣は「よく眠り、よく食べる」こと。

やつしろ舟出浮き 八代城主から広まった舟遊び



▲伝統漁法を間近で見る参加者たち（左）

漁師さんと漁船に乗り込み、八代海の伝統漁法を間近で見た後、無人島で海の幸を味わう体験型レジャー「八代舟出浮き」の海開き式が4月12日、内港大型舟溜まりで行われ、主催の八代舟出浮き組合をはじめ漁業関係者などが出席し、シーズンの安全を祈願しました。神事終了後、主催者を代表して同組合の生川啓組合長が「八代舟出浮きは八代市の体験型レジャーとして好評を得ており、県外からのリピーターが増えている」とあいさつ。中村博生市長らとともにテープカットを行い、シーズンの幕開けを告げました。式典終了後は招待客約60人が乗船体験。伝統のイカ籠漁でイカが引き上げられると、乗船客から歓声が沸きました。

全国オープンラージボール卓球大会 全国の卓球ファンと交流



▲素早い動きによるラリー戦

4月9日と10日、総合体育館で「第6回全国オープンラージボール卓球大会」が開催されました。主催は市卓球協会、山形や大阪など全国から122チーム504人が出場し、団体戦と個人戦で交流しました。直径44mmと通常より大きな球を使用するラージボール卓球は球速が遅く高齢者の健康維持にも役立つ人気のスポーツです。開会式では、日本を代表する歌姫、八代亜紀さんが登場し、始球式として中村市長と卓球で対戦しました。今年のスコアは11対9。昨年に続き八代さんが勝利し喜びを表現しました。その後、八代さんは九州国際スリーデーマーチのPR動画の撮影も行いました。



黄色い帽子贈呈式



▲黄色い帽子に小学校への期待が高まる新入学児童たち

3月28日、八代地区交通安全協会の神園喜八郎会長が市役所を訪れ、小学校新入学児童のための黄色い帽子917個を市に贈呈しました。これは、新入学児童の通学時や外出時の交通事故防止と、車の運転者に対する安全運転の意識啓発を目的に同協会が毎年行っているもので、今年で17回目になります。

新入学児童を代表して、村田悠太郎君らが黄色い帽子を受け取り「ありがたうございました」とお礼を述べました。

ごろ☆はち清掃活動

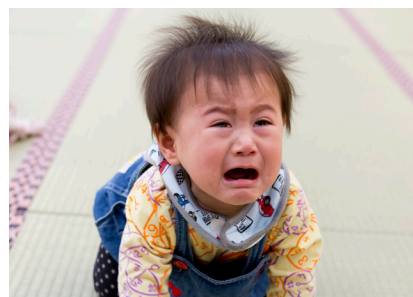


▲八代緑の回廊線を清掃

3月21日、田中町の八代緑の回廊線と田中児童公園で清掃活動が行われました。これは、特定非営利活動法人の八代福祉ネットワークあじさいが、ごみのない綺麗な街にすることを目的に行っており、今回で5回目。同法人のスタッフや入所者など約30人が集まりました。

2回目の参加という秀岳館高校3年の宇野光さんは「ごみは去年に比べて多いです。ポイ捨ては環境問題につながるのだからきちんと分別してごみに出してほしい」と語りました。

全国赤ちゃんハイハイ大会



▲2畳分(約4m)のコースで赤ちゃんはゴールを目指しました。

3月19日、県いぐさ・豊表活性化連絡協議会の主催のもと、第4回全国赤ちゃんハイハイ大会がイオン八代ショッピングセンターで行われ、1歳未満の歩き出す前の赤ちゃん約80人が集まり、横断タイムやパフォーマンスなどを競いました。

スタートから泣き出す子や県産豊が敷き詰められたコースを外れたりする子を少しでも早くゴールさせようと、保護者は手招きやおもちゃを使い応援していました。

市が「さくら功労者」を受賞



▲大島理森衆議院議長(左)と中村博生市長

4月13日、「第51回さくら祭り中央大会」が東京の憲政記念館で開催され、八代市が「さくら功労者」を受賞しました。桜の振興事業に功績があった団体・個人が表彰されるもので、市の花がさくらであることや日本さくらの女王を招いて九州国際スリデーマーチを行っていることなどが認められました。日本さくらの会会長大島理森衆議院議長や今月の九州国際スリデーマーチに出席するさくらプリンスセス下野侑紀さんと中村博生市長が意見交換しました。

今年も無病息災 印鑰神社春季大祭



▲捕まえた魚を掲げる若者

印鑰神社春季大祭が4月7日に行われ、市指定無形民俗文化財である「鮎取り神事」を目にしよう、会場となる鏡町の鏡ヶ池公園には雨にも関わらず、多くの見物人が集まりました。同祭は、5世紀はじめ、九州平定のため石川宿禰がこの地を訪れた際、村の若者たちが池に飛び込み鮎を手掴みで取って献上したことが由来と云われており、800年以上の歴史を持つ伝統行事です。神事の泥を浴びると無病息災になるそうです。

春の全国交通安全運動出発式



▲白バイ隊やパトカー隊にひので保育園児らが声援を送る

4月6日、平成28年八代市春の全国交通安全運動出発式が、イオン八代ショッピングセンターで行われ、八代地区交通安全協会や八代市交通指導員会など関係団体15団体、約200人が参加しました。

春野慎治八代警察署長が「高齢者の事故も増加し、子どもたちが進級や進学で不慣れた通学路を歩く機会が増える春、地域のみなさんと一緒に交通安全意識を高め、子どもや高齢者を交通事故から守りましょう」と激励しました。